

令和5年度第1回浜松市森林・林業未来構想会議

次 第

日時：令和5年8月21日（月）午後1時30分～

場所：浜松市役所本館8階 第3委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 令和4年度森林環境譲与税活用事業の実績について

(2) 令和5年度森林環境譲与税活用事業の計画について

(3) 意見交換

- ・ 森林環境譲与税の活用方法について（評価・検証・提言等）
- ・ 浜松市の森林・林業の将来像について（課題・提言等）
- ・ その他

4 報告、連絡事項

(1) 次回について

5 閉会

(配付資料)

資料1 浜松市における森林環境譲与税の令和4年度実績及び令和5年度計画

資料2 浜松市森林・林業ビジョンー令和5年度事業計画・予算概要ー

資料3 林業振興課 農林水産業費 一般財源比率

令和5年度 浜松市森林・林業未来構想会議メンバー

令和5年7月1日

No.	区分	所属	役職	氏名	備考
1	林業	天竜林材業振興協議会	会長	和田 重明	天竜森林組合 代表理事組合長
2	製材・流通	浜松地域材利用促進協議会	副会長	石野 秀一	(株)フジイチ 代表取締役社長
3	建築・設計	浜松地域材利用促進協議会	理事	永田 琢也	永田木材(株) 代表取締役社長
4	建設設計	浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会	副委員長	中根 康晴	(有)アラン 代表取締役
5	環境教育	天竜こころの森ネットワーク事務局	事務局長	松下 克己	(有)キーウエストクリエイティブ 取締役
6	有識者	静岡文化芸術大学	教授	岩崎 敏之	
	オブザーバー	天竜森林管理署	署長	岩田 清人	
	オブザーバー	静岡県西部農林事務所天竜農林局	局長	山田 達司	
	事務局	浜松市産業部	農林水産 担当部長	清水 克	
	事務局	浜松市産業部林業振興課	課長	小林 和重	
	事務局	浜松市産業部林業振興課	課長補佐	藤江 俊允	
	事務局	浜松市産業部林業振興課	森林・林業政策 グループ長	大平 哲也	
	事務局	浜松市産業部林業振興課		石岡 佳	
	事務局	浜松市産業部林業振興課天竜森林事務所	所長	大畑 雅司	

浜松市における森林環境譲与税の 令和4年度実績及び令和5年度計画

令和5年8月21日

浜松市産業部林業振興課

令和5年度 浜松市における森林環境譲与税の活用



①森林の整備に関する施策【165,298千円(49.9%)】

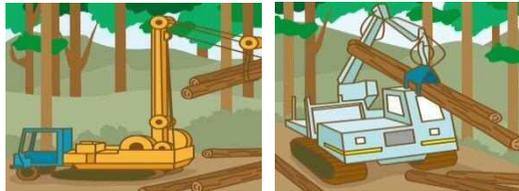
【主な事業】

- 管理されていない森林の所有者への意向調査や現地調査等
- 森林の主伐、再造林、獣害対策等に対する助成
- 森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成 等

②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保【10,750千円(3.2%)】

【主な事業】

- 林業従事者の安全装備等に対する助成
- 林業、木材製造業及び建設業の担い手確保等に対する助成 等



⑤その他の森林の整備の促進に関する施策【26,910千円(8.1%)】

【主な事業】

- OLPWA活用や林道情報デジタル化
- 林業事業体等が実施する開発・研究・調査等に対する助成

③森林の有する公益的機能に関する普及啓発

【8,042千円(2.4%)】

【主な事業】

- FSC普及啓発のためのノベルティ配布やイベント出展
- 首都圏の大都市等との連携促進 等

④木材の利用の促進【120,000千円(36.3%)】

【主な事業】

- 天竜材を使用して住宅を建築した施主に対する助成
- 天竜材を活用した非住宅の木造・木質化に対する助成
- 佐鳴台保育園の新築工事 等



森林環境譲与税活用事業

【浜松市における森林環境譲与税活用事業】

No.	事業名	R3				R4				R5		割合(%)
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額		当初予算額		
		予算額	うち充当額	決算額	うち充当額	予算額	うち充当額	決算額	うち充当額	予算額	うち充当額	
1	森林経営管理推進事業	36,219	36,219	30,954	30,954	48,799	48,799	33,297	33,297	49,678	49,678	15.0
2	林業従事者助成事業	※ No14で実施										
3	林道維持補修事業	129,254	38,259	100,581	28,367	16,240	9,892	16,240	9,892			
4	低コスト林業推進事業	70,000	70,000	68,346	68,346	70,000	70,000	72,449	72,449	70,000	70,000	21.1
5	森林整備・林業振興事業(林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)	113,057	14,463	147,556	37,728	122,059	39,204	91,514	39,204	40,773	40,620	12.3
6	森林活用等都市間連携事業	589	589	429	428	1,069	1,069	880	878	803	803	0.2
7	森林環境教育推進事業	1,000	1,000	990	990	1,000	1,000	990	990	1,000	1,000	0.3
8	FSC認証材利用拡大推進事業	3,290	2,607	2,619	2,533	7,233	6,550	6,979	6,431	6,922	6,239	1.9
9	地球温暖化対策事業(環境政策課)											
10	天竜材めくもり空間創出事業	25,000	25,000	22,844	22,844	25,000	25,000	24,867	24,867	35,000	25,000	7.6
11	浜松子ども館管理運営事業(次世代育成課)											
12	天竜材の家百年住居る事業	55,330	52,000	69,705	65,335	82,330	79,000	66,754	63,440	82,330	79,000	23.9
13	市単独治山事業(山地災害予防対策事業)	32,100	27,000	9,710	5,580	28,000	23,000	10,092	5,332	9,000	5,000	1.5
14	天竜材人材育成・担い手確保事業	10,750	10,750	8,072	8,072	10,750	10,750	9,216	9,216	10,750	10,750	3.2
15	スマート林業推進事業	10,000	10,000	9,086	9,086	8,365	8,365	33,752	6,600	12,006	11,466	3.5
16	天竜材流通・販路拡大事業	1,000	1,000	694	694							
17	林業成長産業化推進事業					8,263	8,263	6,526	6,526	6,500	6,500	2.0
18	家康プロジェクト推進事業(観光CP課)							271,974	56,482			
19	天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業									8,944	8,944	2.7
20	佐鳴台保育園移転新築事業(幼児教育・保育課)									238,748	6,000	60.0
21	天竜体育館大規模改修事業(積立金より)									440,981	10,000	3.0
22	森林環境基金積立金(譲与税金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		487,589	288,887	471,586	280,957	429,108	330,892	645,530	335,604	1,013,435	331,000	

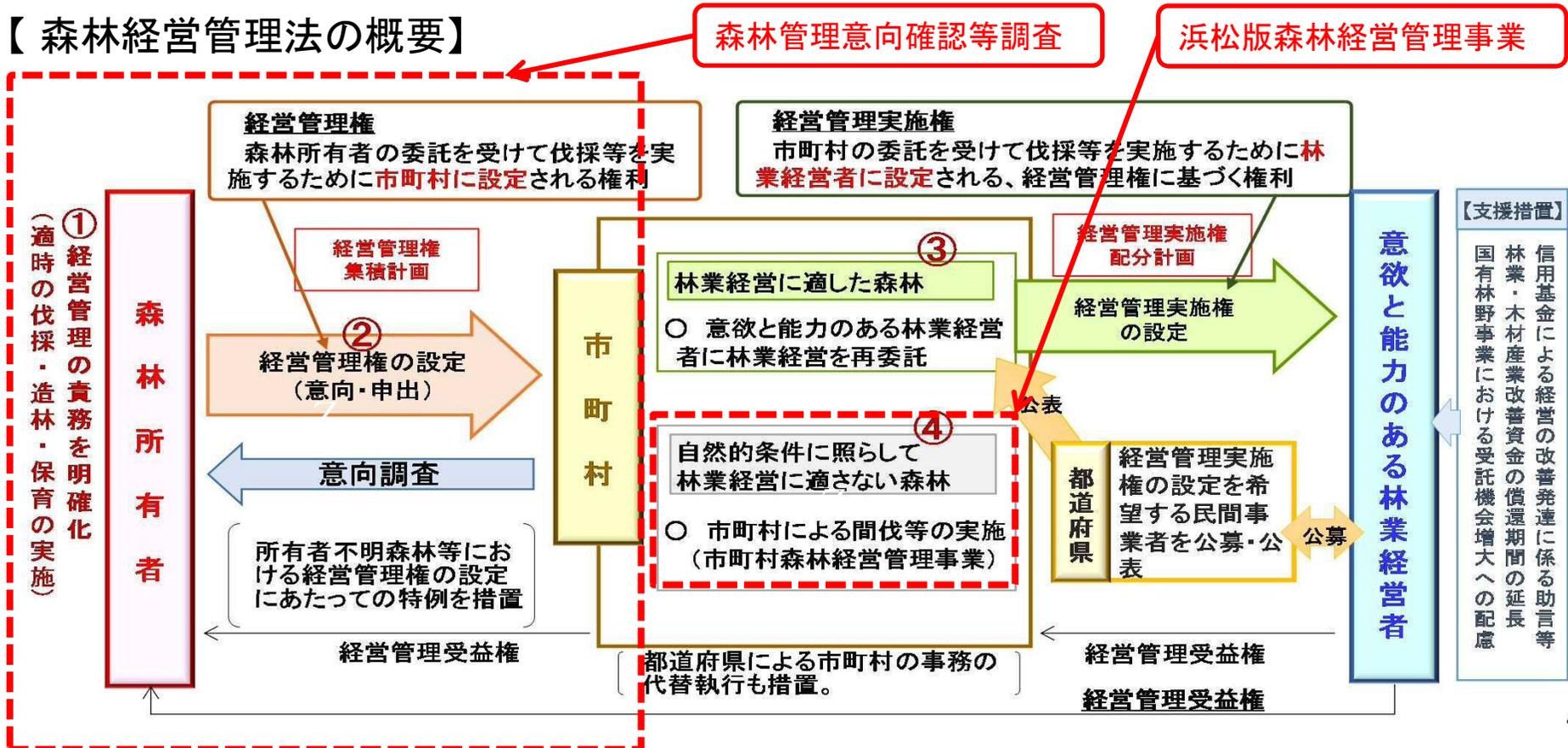
No	項目	R3		R4		R5		割合(%)
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
1	森林環境譲与税	257,000	258,962	321,000	325,712	321,000	321,000	97.0
2	森林環境譲与税過年度積立金	31,887	21,995	9,892	9,892	10,000	10,000	3.0
3	合計	288,887	280,957	330,892	335,604	331,000	331,000	

1 森林経営管理推進事業(R4決算(見込):33,297千円、R5予算:49,678千円)



- 森林経営管理法に基づき、**適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施**するとともに、意向に基づき**市主導の環境伐を実施することで針広混交林化を推進**
 - ・ 森林管理意向確認等調査／森林所有者への意向確認、計画作成、同意取得等を実施
 - ・ 浜松版森林経営管理事業／経営管理権集積計画に基づき、混交林化を目指した環境伐を実施

【森林経営管理法の概要】



1 森林経営管理推進事業(R4決算(見込):33,297千円、R5予算:49,678千円)



- 令和4年度の意向調査の実施結果は、森林所有者数:192人、面積:269.85ha
- これまでの調査地のうち、浜松版森林経営管理事業は5件、24.31haで、国補助及び県森の力事業を活用を含め、調査地のうち既に森林整備を実施した面積は469.21ha
- 令和5年度は、面積:約360haを調査予定

【これまでの森林管理意向確認等調査の実績】

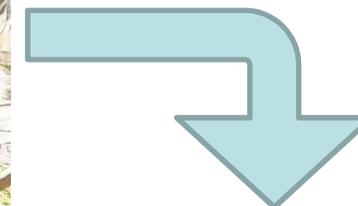
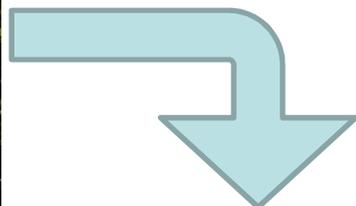
年度	実績														備考
	森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐同意人数【人】)	(うち利用間伐同意面積【ha】)	(うち保育間伐同意人数【人】)	(うち保育間伐同意面積【ha】)	(うち皆伐同意人数【人】)	(うち皆伐同意面積【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】)	(うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】)	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
R1	96	160.59	63	104.23	26	65.67	41	34.08	0	0.00	1	4.48	17	49.60	その他:7人、6.76ha
R2	160	271.64	142	250.51	120	190.61	27	47.58	0	0.00	2	11.40	10	13.98	
R3	148	293.82	73	168.34	49	107.69	24	60.65	0	0.00	0	0.00	42	76.20	
R4	192	269.85	66	89.99	51	60.27	12	26.87	3	2.85	0	0.00	96	143.43	
合計	596	995.90	344	613.07	246	424.24	104	169.18	3	2.85	3	15.88	165	283.21	

※ 利用間伐及び保育間伐の重複者あり

3 林道維持補修事業 (R4決算(繰越)(見込):9,892千円 ※過年度積立金より)



- 被災した林道佐久間線の復旧事業を実施
 - ・ 路肩修繕工事(33.2m)



【 林道佐久間線の路肩修繕工事の様子 】

4 低コスト林業推進事業 (R4決算(見込):72,449千円、R5予算:70,000千円)



○ 木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内
で行う林内路網等の整備を支援

【R4実績】

- 作業路開設 (幅員:3.0m以下) / 5件、2,715m
- 作業道開設 (幅員:3.0m) / 25件、11,908m
- 作業道修繕 / 39件、16,989m
- 索道設置・撤去 / 8件、8,369m

〔 制度の概要 〕

補助対象 / 市内の認証森林

補助率 / 補助対象経費合計の4分の3以内
単価等 /

- 森林作業道開設: 7千円/m
- 森林作業路開設: 4千円/m
- 森林作業道補修: 上限1,000千円
- 架線設置・撤去: 延長100m以上



【 作業道開設 】



【 索道設置 】

5 森林整備・林業振興事業

(林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)
(R4決算(見込):39,204千円、R5予算:40,620千円)



【 林業・木材産業成長産業化促進対策事業 】

○ 主伐時の集材と再造林の一貫作業関連活動を支援

- ・(R4実績) 実績なし
- ・(R3実績) 皆伐面積:2.05ha、間伐面積:9.59ha、材積:2,137 m^3

【 浜松型林齢平準化促進事業 】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援(2,000円/ m^3)

- ・(R4実績) 皆伐面積:32.19ha、材積:16,750 m^3
- ・(R3実績) 皆伐面積:37.53ha、材積:19,065 m^3



【 皆伐における木材搬出 】

6 森林活用等都市間連携事業 (R4決算(見込):878千円、R5予算:803千円)



○ 首都圏の大都市等との連携推進により、森林・林業への理解を深めてもらい、 天竜材の販路拡大に繋げることを目的に実施

- ・ 10/28,29 「川崎駅前 優しい木のひろば(川崎市主催)」／ブース来場者:320人
- ・ 11/12 「なかのエコフェア2022(中野区主催)」／ブース来場者:330人

○ R5年度も引き続き、大都市イベントでの出展を予定



【川崎駅前 優しい木のひろば】

【なかのエコフェア2022】

7 森林環境教育推進事業(R4決算(見込):990千円、R5予算:1,000千円)



- 森林や林業に対する理解を深めることを目的に、森林体験活動の受入団体「天竜こころの森ネットワーク」の運営活動等を支援
- R4年度は、SDGsや脱炭素化への意識の高まりなどの影響から問合せが増加し、13件のツアー受入、8件のプロモーションを実施
- R5年度も引き続き、体験受入やプロモーションを推進



【企業向けモデルツアーの様子】



【一般市民向けモデルツアーの様子】

8 FSC認証材利用拡大推進事業(R4決算(見込):6,431千円、R5予算:6,239千円)



- 天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる
- 令和4年度は「浜松ウッドコレクション」の開催に加え、「ジャパンホームショー」へ浜松市ブースを出展
- 令和5年度も引き続き、「ジャパンホームショー」への浜松市ブース出展を予定

浜松ウッドコレクション2022

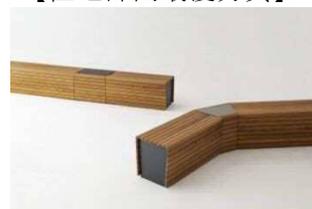
- 概要／天竜材を使用した建築物や木製品、木製家具等のデザインコンペ
- 応募数／86件(住宅部門21件、一般建築物部門21件、木製家具部門15件、木製品部門29件)



【住宅部門最優秀賞】



【一般建築物部門最優秀賞】



【木製家具部門最優秀賞】



【木製品部門最優秀賞】

ジャパンホームショー2022

- 概要／全国への天竜材の販路拡大やFSC認証のPRを目的に浜松市ブースを出展
- 期間／令和4年10月26日(水)～28日(金)
- 場所／東京ビッグサイト
- 展示／浜松ウッドコレクションの受賞作品等



10 天竜材ぬくもり空間創出事業(R4決算(見込):24,867千円、R5予算:25,000千円)



○ 天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、非住宅建築物における木造・木質化を支援し、天竜材の地産地消を推進

- ・ 令和4年度実績:19件(新築・増改築・改修・改装:6件、木製家具の導入:13件)
- ・ 令和3年度実績:13件(新築・増改築・改修・改装:8件、木製家具の導入:5件)

〔 制度の概要 〕

FSC認証材を使用する非住宅建築物の木造・木質化に対する助成事業

- 補助対象者
施主
- 補助金額
 - (1) 非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3
(FSC認証材PRに効果的取組は1/2)
【上限:5,000千円、200千円/m³】
 - (2) (R5新)特に天竜材の普及効果の高い非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3
【上限:10,000千円】
 - (3) 木製家具・木製品の購入費の1/3
【上限:2,500千円】



【 本事業活用店舗等(R4年度) 】

12 天竜材の家百年住居る事業(R4決算(見込):63,440千円、R5予算:79,000千円)



- **天竜材(FSC認証材)を使用した住宅の建築主を支援し、天竜材の地産地消を推進することで、地域の森林資源の循環利用を実現**
- **令和3年度から、大幅な改定(FSC認証材特化、上限拡充)を行い拡充事業として実施するとともに安定財源で長期的な実施を目指し、森林環境譲与税を活用**

〔市内住宅着工数と住宅助成事業の推移〕

年度	住宅着工数	うち木造住宅	木造住宅割合	市住宅助成事業実績	うちFSC材使用実績
H23	5,371	3,741	70%	230	92
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	3,693	70%	146	94
R2	4,942	3,180	64%	131	79
R3	4,682	3,356	72%	160	115
R4	5,082	3,194	63%	154	110
合計	64,749	30,148	—	2,284	1,225

- **12年間でFSC認証材が1,225棟の住宅に使用**
- **12年間で約9,200m³のFSC認証材が使用(1棟:7.5m³と仮定)**



【天竜材が使用された木造住宅】 13

※ 「住宅着工数」と「うち木造住宅」は、住宅課調べ

13 山地災害予防対策事業 (R4決算(見込):5,332千円、R5予算:5,000千円)



- 森林所有者による森林管理が進ま
ず荒廃状態にある森林について山地
災害予防等の観点から整備を促進
- 森林の有する山地災害の防止等の
公益的機能の強化を図る

【 実施前 】



【 実施後 】



〔 制度の概要 〕※令和5年度より③を拡充

	① 面的森林整備事業 (事前申請型)	② 小規模緊急森林整備事業 (実績申請型)	③危険木伐採支援事業 (実績申請型)
事業内容	申請面積 0.6ha~1.0ha	申請面積 0.1ha~0.5ha	胸高直径20cm以上かつ樹高5m以上 <u>高度な技術又は特殊機器等が必要で専門業者でなければ伐採できない</u>
補助金額	1本620円(胸高直径10cm以上) または実行経費の安価な方 ※ 0.1haあたり上限124,000円	0.1haあたり上限124,000円 または実行経費の安価な方	危険木伐採経費の <u>1/2以内</u>
上限補助金額	1申請あたり124万円(上限1ha または2000本)	1申請あたり62万円(上限 0.5ha)	<u>1申請あたり50万円</u>
注意点	事前申請時に事業計画書等の提出が必要	実施前に現況報告書の提出及び協議が必要	
補助対象	(1) 危険木伐採 (2) 環境伐 (3) 倒木等処理 (4) 伐採木等流出防止処理		

14 天竜材人材育成・担い手確保事業 (R4決算(見込):9,216千円、R5予算:10,750千円)



○ 令和3年度から、林業従事者の安全装備、給料、健康診断等に対する助成に加え、**新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動等に対する助成を新設**

【R4実績】

- ・ 林業従事者安全装備品等支援事業／助成林業従事者数:184人(防護ズボン、安全靴等)
- ・ 新規就業者支援事業／助成新規就業者数:24人(採用から3年未満の給料及び手当金を支援)
- ・ 新規就業者技術力向上事業／助成件数:3件①
- ・ 担い手確保・育成活動事業／助成件数:13件② (①+②の参加者(累計)／407人)

〔 天竜材人材育成・担い手確保事業の概要 〕

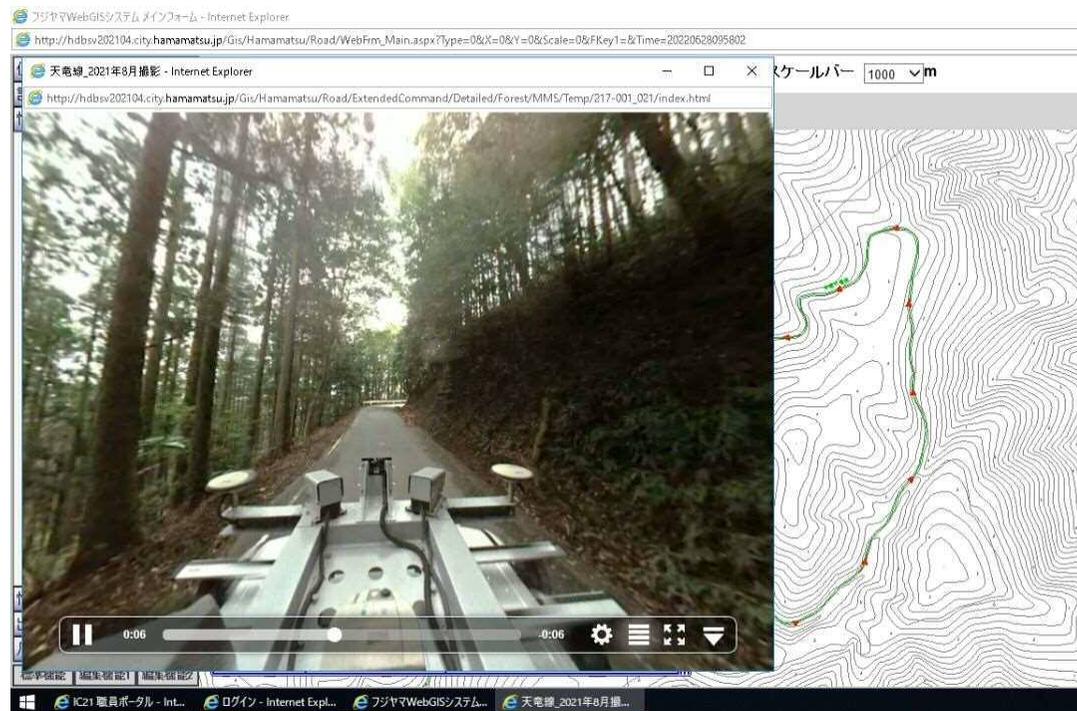
名称	補助対象者	補助対象事業	補助率及び上限額
新規就業者技術力向上事業	天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者又は世帯を別にする3人以上の市内に住所を有する者で構成された団体 など	新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催	1/2以内 (上限200千円／事業)
担い手確保・育成活動事業		担い手確保につながるインターンシップや現地見学の開催	1/2以内 (上限100千円／事業) (インターンシップ:上限50千円／人) (現地見学:上限20千円／人)



【 支援した各事業の様子 】

< マッピングGISデータ取得 >

- 林道情報のデジタル化を進めることで災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対し迅速に周知することにより、住民の安心・安全を図る
- 県内で土木部局と同様の地図情報システムにより林道を管理している市町は存在せず、マッピングや映像での林道管理は県内初の取組

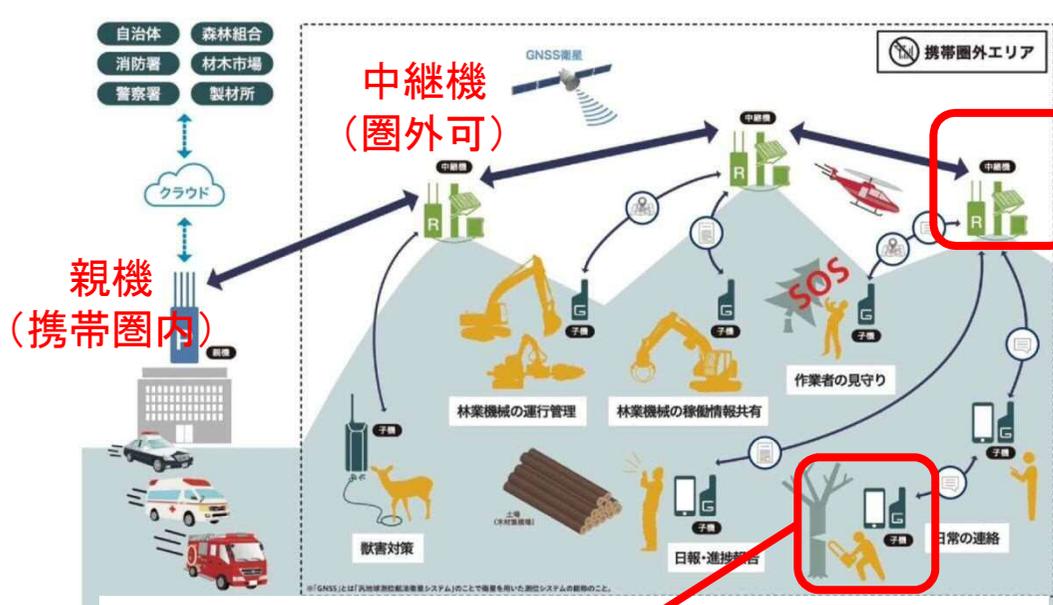


【MMSに360°カメラを登載し、角度を移動できる動画を全周囲画像として撮影】

< LPWA活用推進事業 >

○ モデル地域においてLPWAを活用した通信インフラを整備し、林業従事者にLPWAインフラを活用したサービスを利用してもらうことで、**林業従事者の安全確保と労働生産性の向上を図る**

※ LPWA (Low Power Wide Area) : 通信速度が遅く一度に送信できるデータ容量は小さいが、消費電力が少なく遠距離通信が可能な無線技術の総称。



中継機 (ソーラーバッテリー) で稼働

< 労働環境の改善 >

○ 作業員の安全対策 (SOS発信、業務連絡、位置情報取得)

< 労働生産性の向上 >

○ 木材運搬情報の発信 ⇒ 木材市場へ
○ 林業機械の運行管理、日報、進捗報告



子機 ⇒ 自前スマホと接続 (圏外可)

17 林業成長産業化推進事業(R4決算(見込):6,526千円、R5予算:6,500千円)



○ 本市の林業・木材産業の成長産業化のため、令和3年度に終了した国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」の後継として、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業に対する助成を、森林環境譲与税を財源に令和4年度から開始。

〔 事業の概要 〕

事業名	天竜材地産地消・地産外商推進事業	天竜材製品開発支援事業
補助条件	天竜材の生産量及び販路の拡大に繋がる事業	天竜材を使用し開発する製品がFSC認証製品であること
補助率	補助対象経費の2分の1以内	
補助対象事業	原木・製材の生産量及び販路の拡大に関する事業 品質・デザイン・機能性の向上に関する事業 等	製品開発に伴う設計・デザインや試作品の製作・試験 開発した製品及び天竜材を全国に流通させるための普及・啓発事業 等
補助対象経費	需用費、役員費、交通費、原材料費、製作・試験費、謝金、技術者給、委託費、備品購入、使用料及び賃借料(領収書を徴収することができないものや飲食代は補助対象外等条件あり)	

18 家康プロジェクト推進事業(大河ドラマ館等設計保守撤去業務) (R4決算(見込):56,482千円)【観光・シティプロモーション課】



- 2023(令和5)年大河ドラマ「どうする家康」ゆかりの地となる本市は、**令和5年3月から大河ドラマ館がグランドオープン**
- 全国から多くの観光客が来館することが予想されるこの**大河ドラマ館の施設に東京2020大会の選手村ビレッジプラザで使用された天竜材を使用**することでオリンピックレガシーを伝えるとともに、天竜材(FSC認証材)を 多くの人に紹介



【 天竜材を使用して建設された大河ドラマ館 】

- 市内森林の二酸化炭素吸収量のクレジット化により、森林の新たな価値を生み出すとともに、森林を活用した木材生産以外の新規ビジネスを創出
- 今年度は各種制度(「J-クレジット」や「ボランタリークレジット(VCS)」等)の情報収集・比較やクレジット創出のための基礎資料の準備等を実施

【事業内容】

(1)プロジェクトマネージャーの設置

昨年度に引き続き民間専門人材を雇用
専門知識を活かし、二酸化炭素吸収量の
クレジット化に向けた調査を実施

(2)カーボンクレジット創出モデル事業

クレジット化のため資源量等を航空データから
解析するとともに各種クレジット制度の比較等
を実施

(3)先行事例調査

国内クレジット制度で先行する地域を視察、
作業内容等のヒアリングを実施

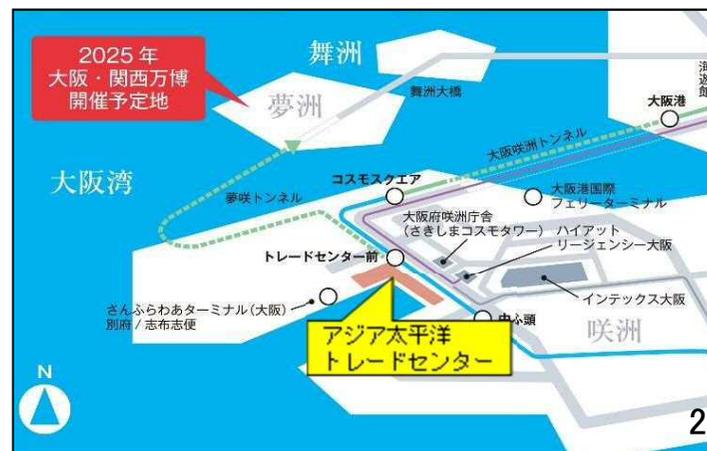
【事業イメージ】



○2025年開催の大阪・関西万博関係者や来場客に対し、天竜材(FSC認証材)をPRするため、「WOOD MEETS」に浜松市ブースを出展(R5.7～R7.10(予定))

※WOOD MEETS

- ・大阪・関西万博隣接施設「アジア太平洋トレードセンター」にて設置されている国内木材市場振興のプラットフォームを目指すショールーム
- ・福岡、奈良、宮崎、高知、徳島等多くの自治体や事業者が出展中



(資料2)

浜松市森林・林業ビジョン

令和5年度事業計画・予算概要

令和5年4月

浜松市産業部林業振興課

1 令和5年度 浜松市林業政策

本市は、市域の約7割、約10万haの森林を市民共有の貴重な資源ととらえ、この多面的機能を向上させ、森林資源を活かしていくための指針として2007年（平成19年）3月、「浜松市森林・林業ビジョン」を策定しました。

森林・林業ビジョンは、2037年度（令和19年度）までの林業政策の方向性等を示すものであり、個別具体的な事業は、浜松市総合計画や浜松市総合戦略等との連携を図りながら、毎年度、国の動向や経済情勢、本市の財政状況等を踏まえた上で、立案・実施しています。

こうした中、2019（令和元）年度から、森林環境譲与税の譲与が開始されました。本市への譲与額は、初年度が約120,400千円、令和2・3年度が約257,000千円、令和4年度と今年度が約321,000千円の予定であり、この譲与税を有効に活用することが重要です。

本市では、FSC森林認証の取得から13年が経過し、これまでFSC森林認証を核とした森林・林業政策を展開してきました。その結果、市町村別の認証取得面積は全国第1位となり、FSC認証材の生産量も全国トップレベルの地域に成長しました。

これを踏まえ、今後、「FSCの取得から利活用への進化（『FSC NEXT ステージへの進化』）を進め、市民が自発的に認証材や認証製品を選び・使う「FSC文化」を創出することで天竜美林の多面的機能の維持・向上と林業・木材産業の成長産業化を実現することを目指す。

林業振興事業においては、引き続き、低コスト林業推進事業や林道整備事業、森林整備・林業振興事業の実施により、生産基盤の強化や木材生産量の増加を図ります。

また、今年度、非住宅建築物の木造・木質化を支援する「天竜材ぬくもり空間創出事業」を拡充し、普及効果の高い非住宅建築物への補助上限の変更（500万円→1,000万円）や補助対象の追加（FSC製木製品も対象）を実施することで、更に天竜材（FSC認証材）の地産地消を推進します。

森林整備事業においては、新規事業として「天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業」を実施し、浜松市内の森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化することで、森林の新たな価値を生み出すとともに、森林を活用した木材生産以外の新規ビジネスを創出します。

以上、こうした事業を通じて、2023（令和5）年度は以下の目標の達成を目指していきます。

年 度	年間木材生産量		FSC 森林認証面積
		うち FSC 材	
令和3年度	121,673 m ³	65,568 m ³	49,441 ha
令和4年度	<集計中>	<集計中>	49,537 ha
令和5年度（目標）	173,601 m ³	135,000 m ³	49,800 ha

2 令和5年度 林業政策予算（当初予算比較）

（単位：千円）

	大事業	中事業	2023 (R5)	2022 (R4)	増減	
林業振興事業	林道等整備事業	公共林道整備事業	63,800	61,600	2,200	
		県営林道整備促進支援事業	46,000	47,000	▲1,000	
		県単独林道整備事業	162,404	166,595	▲4,191	
		市単独林道整備事業	24,866	25,708	▲842	
		林道維持補修事業	236,181	242,063	▲5,882	
		林業専用道整備事業	—	60,060	▲60,060	
	低コスト林業推進事業	林業機械・施設整備事業	29,186	3,272	25,914	
		低コスト林業推進助成事業 ◎	70,000	70,000	0	
	木材需要拡大事業	天竜材の家百年住居助成事業 ○	82,330	82,330	0	
		天竜材ぬくもり空間創出事業 ○	35,000	25,000	10,000	
		新しい生活様式支援天竜材活用事業	—	10,000	▲10,000	
		森林整備・林業振興事業 ○	157,959	122,059	35,900	
		森林活用等都市間連携事業 ◎	803	1,069	▲266	
		森林環境教育推進事業 ◎	1,000	1,000	0	
		FSC 認証材利活用推進事業 ○	6,922	7,233	▲311	
天竜材人材育成・担い手確保業 ◎	10,750	10,750	0			
スマート林業推進事業	○	12,006	8,365	3,641		
林業成長産業化推進事業	◎	6,500	8,359	▲1,859		
森林管理デジタル運営経費		—	540	▲540		
森林整備事業	森林啓発・林業振興強化支援事業		8,767	8,562	205	
	森林・林業施設管理事業		11,603	11,819	▲216	
	森林管理事業	森林認証推進事業		3,826	4,537	▲711
		市有林管理事業		1,654	2,885	▲1,231
		（新規）天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業 ◎		8,944	—	8,944
	治山事業	県単独治山事業		27,720	12,540	15,180
		市単独治山事業 ○		14,000	28,000	▲14,000
	森林保護事業	防風林等被害対策事業		11,831	11,831	0
		カモシカ被害対策事業		5,252	6,846	▲1,594
		野生鳥獣出没緊急対応事業		3,982	3,861	121
森林経営管理推進事業	◎	49,678	48,799	879		
林道施設災害復旧事業	国庫補助事業		200,000	460,000	▲260,000	
	単独事業		240,000	190,000	50,000	
森林管理運営経費	森林管理運営経費		9,813	10,677	▲864	
人事費	会計年度任用職員		1,721	1,665	56	
森林環境基金積立金			3,003	3,003	0	
合計			1,547,501	1,758,028	▲210,527	

◎：森林環境譲与税充当（全額）、○：森林環境譲与税充当（一部）

※（参考）令和5年度 林業政策予算（森林環境譲与税使途） （単位：千円）

（1）森林環境譲与税現年充当分

No.	事業名	内容	2023 (R5)	2022 (R4)	
歳入	1	森林環境譲与税	-	321,000	
充当先	2	(新規) 天竜美林カーボンプレジット創出モデル事業	市内森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化し、森林に新たな価値を創出	8,944	-
	3	市単独治山事業	災害予防を目的とした森林整備に対する助成	5,000	23,000
	4	森林経営管理推進事業	適切に管理されていない森林の意向確認及び経営管理権集積計画作成等	49,678	48,799
	5	低コスト林業推進助成事業	林業経営体による森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成	70,000	70,000
	6	天竜材の家百年住居助成事業	FSC 認証材の地域材を一定量以上使用して住宅を建築した施主に対する助成	79,000	79,000
	7	天竜材ぬくもり空間創出事業	天竜材 (FSC 認証材) を活用した非住宅建築物の木造・木質化に対する助成	25,000	25,000
	8	森林整備・林業振興事業	伐採適齢期を迎えた森林の主伐及び搬出、再造林並びに獣害対策等に対する助成	40,620	39,204
	9	森林活用等都市間連携事業	天竜材販路拡大を図るため、首都圏の大都市等との連携促進	803	1,069
	10	森林環境教育推進事業	市内外の学校や企業等を対象とした森林環境プログラムの受入	1,000	1,000
	11	FSC 認証材利用拡大推進事業	・FSC 認証材普及啓発推進のためのノベルティの配布 ・ジャパンホームショー出展	6,239	6,550
	12	天竜材人材育成・担い手確保事業	・林業、木材製造業及び建設業（天竜材に関わるものに限る）の新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動等に対する助成	10,750	10,750
	13	スマート林業推進事業	・「スマート林業×林道管理」事業 ・LPWA 活用推進事業の実施	11,466	8,365
	14	林業成長産業化推進事業	林業成長産業化の実現に向け、林業事業者等が実施する開発・研究・調査等を助成	6,500	8,263
	15	公共建築課/佐鳴台保育園経費	佐鳴台保育園の新築工事の一部（木工事）	6,000	-
	合 計			321,000	321,000

（2）森林環境譲与税過年度積立分

No.	事業名	内容	2023 (R5)	2022 (R4)	
歳入	1	森林環境基金繰入金（森林環境譲与税）	過年度積立残高を活用し、以下の事業に充当	10,000	-
充当先	2	浜松市立佐鳴台保育園 移転・新築工事	佐鳴台保育園の新築工事の一部（木工事）	(21,267) ※R6 債務	-
	3	天竜体育館大規模改修事業	天竜体育館の改修工事の一部（木工事）	10,000	-
	合 計			10,000	-

3 事業内容

■ 林業振興事業（政策名：適切な伐採と流通の活性化）

（1）林道等整備事業

①公共林道整備事業【予算額：63,800千円】（④61,600千円）㊦43,297千円

天竜森林事務所

〔事業内容〕

国・県補助金等を活用し、林道の開設を進めます。

- ・林道開設2路線：林道大沢光明線、林道光明山佐久線

②県営林道整備促進支援事業（負担金）

【予算額：46,000千円】（④47,000千円）

林業振興課

〔事業内容〕

県が実施する林道整備事業に対して負担金を支出します。

- ・林道開設2路線：林道地八吉沢線・林道大尾大日山線
- ・改良・舗装1路線：林道観音山I線

③県単独林道整備事業

【予算額：162,404千円】（④166,595千円）㊦80,521千円

天竜森林事務所

〔事業内容〕

県補助金を活用し、林道の改良・舗装工事を進めます。

- ・対象地域（過疎指定地域）：春野 佐久間 水窪 龍山
- ・改良工事：13路線18箇所
- ・舗装工事：3路線3箇所

④市単独林道整備事業

【予算額：24,866千円】（④25,708千円）㊦4,810千円

天竜森林事務所

〔事業内容〕

県補助金対象（過疎地域）外の地域の林道を市の単独事業として整備します。

- ・舗装工事：3路線3箇所

⑤林道維持補修事業

【予算額：236,181千円】（④242,063千円）㊦79,010千円

天竜森林事務所

〔事業内容〕

市内全域の林道の維持補修を行います。

＜終了＞林業専用道整備事業（④60,060千円）

天竜森林事務所

（3）低コスト林業推進事業

①林業機械・施設整備事業（補助金）

【予算額：29,186千円】（④3,272千円）⑦7,100千円

天竜森林事務所

[事業内容]

木材生産の効率化のために林業事業者等が整備する高性能林業機械等の経費を支援します。

- ・補助対象：林業事業者等
- ・補助対象事業：高性能林業機械
- ・補助金額：対象となる経費の1/2、1/3

②低コスト林業推進助成事業（補助金）

【予算額：70,000千円】（④70,000千円）

天竜森林事務所

[事業内容]

木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証森林内で行う林内路網等の整備に係る経費を支援します。

- ・補助対象：森林所有者等
- ・補助対象事業：作業道（3m以上）・作業路（3m未満）開設、作業道修繕（上限：1,000千円/路線）、索道設置・撤去
- ・補助金額：対象となる経費の75%

※森林環境譲与税充当事業

（4）木材需要拡大事業

①天竜材の家百年住居る（すまいる）事業（補助金）

【予算額：82,330千円】（④82,330千円）

林業振興課

[事業内容]

天竜材の利用拡大のため、FSC認証材（浜松市のFSC認証林から生産され、COC認証取得事業者により浜松市内で製材・加工された天竜材）を一定量以上使用する木造住宅の建築主に対して、FSC認証材使用に関わる費用の一部を支援します（受付・審査等は浜松地域材利用促進協議会に委託）。

- ・補助対象：市内に新築・増築する居住用木造住宅
- ・補助条件：

- ア 居住面積が 66 m² (20 坪) 以上
- イ FSC 認証材を主要構造材使用量の 80%以上使用し、内装材と合わせて 5 m³以上使用 など
- ・補助金額：FSC 認証材使用量 20 千円/m³、上限 300 千円/棟
COC 認証取得工務店が建築した場合は追加助成 200 千円/棟
- ・申請期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日
- ※森林環境譲与税充当事業（一部）

②天竜材ぬくもり空間創出事業（補助金）

【予算額：35,000 千円】(④25,000 千円)

林業振興課

[事業内容]

天竜材の利用拡大のため、浜松市内で生産・加工された FSC 認証材（以下「FSC 認証材」）を使い、浜松市内の非住宅建築物の木造・木質化を行う施主に対し、FSC 認証材または木製家具・木製品（FSC 認証製品）の購入費を支援します。

ア 対象施設

併用住宅・分譲マンション・賃貸マンション・共同住宅の居住部分以外、事務所、店舗、私立保育園・私立幼稚園・私立学校等の私立の教育施設、病院、工場、木塀 等

イ 補助金額及び条件

○非住宅建築物の新築・増改築・改修・改装

→FSC 認証材の購入費の 1/3（上限 200 千円/m³、5,000 千円）

※ FSC 認証材の PR に効果的な提案で天竜材ぬくもり空間創出事業審査委員会が認める場合は予算の範囲内で対象経費の 1/2

→市内に新築または増改築・改修・改装する非住宅建築物であること

→上記の構造材または内装材、外装材に FSC 認証材を 20 m²以上または 5 m³以上使用すること

○特に FSC 認証材の普及啓発効果の高い非住宅建築物の新築・増改築・改修・改装

→FSC 認証材の購入費の 1/3（上限 10,000 千円）

※次の条件をクリアした場合に限る

①構造材または内装材、外装材に FSC 認証材 100 m³以上使用

②FSC プロジェクト認証取得（施主負担）

③効果的な啓発事業の実施

→市内に新築または増改築・改修・改装する非住宅建築物であること

○非住宅建築物への木製家具・木製品の導入

→木製家具・木製品の購入費の 1/3（上限 2,500 千円）

→市内の非住宅建築物に FSC 認証製品の木製家具・木製品を導入するこ

と

→木質材料の8割以上をFSC認証材とすること

→単価（補助対象経費）1基あたり200千円以上であること

ウ 申請期間

令和5年4月1日～令和6年3月15日

※森林環境譲与税充当事業（一部）

③森林整備・林業振興事業【予算額：157,959千円】（④122,059千円）

天竜森林事務所

〔事業内容〕

間伐、除伐、主伐等の森林整備事業を支援します。

ア 森林整備地域活動支援事業

イ 森林環境保全直接支援事業

・補助対象：森林組合及び森林所有者等

・補助対象事業：森林経営計画を作成している森林の除伐、保育間伐、間伐、更新伐、人工造林等

・補助金額：対象となる経費の一般森林 1/3、FSC認証森林 2/3

ウ 美しい森林づくり基盤整備交付金

・補助対象：森林組合及び森林所有者等

・補助対象事業：特定間伐等促進計画に定める森林の間伐

・補助金額：対象となる経費の一般森林 1/3、FSC認証森林 2/3

エ 合板・製材生産性強化対策事業

・補助対象：体質強化計画に記載された林業事業者等

・補助対象事業：体質強化計画に定める森林の間伐等

・補助金額：対象となる経費の一般森林 1/3、FSC認証森林 2/3

オ 林業・木材成長産業化促進対策事業

・補助対象：林業事業者及び森林所有者等

・補助対象事業：林業事業者等が行う主伐に関する集材、再造林、
獣害対策等の作業

・補助金額：対象経費から国補助を除いた額の一般森林 1/3、FSC認証
森林 2/3

※森林環境譲与税充当事業

カ 浜松型林齢平準化促進事業

・補助対象：林業事業者及び森林所有者等

・補助対象事業：林業事業者等が行う主伐材の搬出作業

・補助金額：2,000円/m³

※森林環境譲与税充当事業

④森林活用等都市間連携事業【予算額：803千円】(④1,069千円)

林業振興課

[事業内容]

天竜材の販路拡大に向け、首都圏の大都市との連携を進めます。

- ・首都圏学校対象の見学ツアーや都市間連携イベントへの出展
- ・公共建築物等への天竜材供給を目指した連携都市関係部局との調整 等

※森林環境譲与税充当事業

⑤森林環境教育推進事業【予算額：1,000千円】(④1,000千円)

林業振興課

[事業内容]

市内外からの森林学習等の要請を受け入れるために発足した団体「天竜こころの森ネットワーク（2019（令和元）年度発足）」の運営等を行います。

※森林環境譲与税充当事業

⑥FSC 認証材利活用推進事業【予算額：6,922千円】(④7,233千円)

林業振興課

[事業内容]

天竜材及びFSC 森林認証の認知度向上に関する取組を行うことで、FSC 認証材（天竜材）の地産地消・地産外商を積極的に推進し、FSC 認証材（天竜材）の利用拡大に繋がります。

ア 大手企業連携推進事業

- ・天竜材（FSC 認証材）セールスミーティングの開催

イ FSC 認証材普及啓発推進事業

ウ ジャパンホームショー2023 への出展

- ・日本最大級の住宅・建築関連専門展示会での天竜材のPR

※イ～ウ森林環境譲与税充当事業

⑦天竜材人材育成・担い手確保事業【予算額：10,750千円】(④10,750千円)

林業振興課

[事業内容]

天竜材に関わる林業、木材製造業等が行う新規就業者の技術力向上及び新たな担い手の確保に繋がる取組を支援します。また、林業就業者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業者等が負担する経費を支援します。

ア 天竜材人材育成・担い手確保事業（補助金）

・補助対象：天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者等

・補助内容：

○新規就業者技術力向上事業／新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催（1/2以内、上限：200千円）

○担い手確保・育成活動事業／担い手確保につながるインターンシップや現地見学の開催（1/2以内、上限：100千円）

※森林環境譲与税充当事業

イ 林業従事者助成事業（補助金）

・補助対象：認定事業体、自伐林家及び協業体（安全装備品等支援事業のみ）

・補助内容：

○林業従事者安全装備品等支援事業／林業従事者の安全対策に必要な装備品購入等への助成（1/2以内、上限：25千円/人、新規就業者は50千円/人）

○新規就業者支援事業／新規就業者等の給料等への助成（1/3以内、上限：50千円/月人）

※森林環境譲与税充当事業

<終了>新しい生活様式支援天竜材活用事業（④10,000千円）

林業振興課

（5）スマート林業推進事業

①スマート林業推進事業【予算額：12,006千円】（④8,365千円）

林業振興課、天竜森林事務所

[事業内容]

災害の発生状況の早期把握・対応や通行止め等の交通情報の住民への迅速な周知を図るため、林道情報のデジタル化を進めます。

ア マッピングデータ測量・解析

・対象／主要32路線（180km）

・目的／車載カメラの360度撮影での全周囲情報取得による被災前の詳細情報の把握、レーザー測量の3次元データの取得

イ LPWA活用推進事業

・LPWA エリア維持管理事業／モデル地域（天竜区龍山地域）において整備したLPWA※通信インフラの維持管理を実施

・LPWA活用モデル事業／林業従事者にLPWAインフラを活用したサービスの利用を通じ、林業従事者の安全確保と労働生産性を図る。

ウ 森林情報システムに要する経費（森林管理デジタル運営経費からの組替）
※ア～イ森林環境譲与税充当事業

（６）林業成長産業化推進事業

①林業成長産業化推進事業【予算額：6,500千円】（④8,359千円）

林業振興課

[事業内容]

林業・木材産業の成長産業化のため、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業に対して支援します。

ア 天竜材地産地消・地産外商推進事業

イ 天竜材製品開発支援事業

※森林環境譲与税充当事業

<終了>森林管理デジタル運営経費（④540千円）

林業振興課

※スマート林業推進事業へ組替のため

■森林整備事業（政策名：森林管理を通じた環境対応社会への貢献）

（１）森林・林業啓発事業

①森林啓発・林業振興強化支援事業（負担金）

【予算額：8,767千円】（④8,562千円）

林業振興課

〔事業内容〕

森林・林業の啓発及び活性化に向け、浜松地域 FSC・CLT 利活用推進協議会や静岡県山林協会、県立森林公園等の関係団体に負担金を支出します。

（２）森林・林業施設管理事業

①森林・林業施設管理事業【予算額：11,603千円】（④11,819千円）

林業振興課、天竜森林事務所

〔事業内容〕

市民が身近にふれあう森林体験・交流施設の維持管理を行います。

（３）森林管理事業

①森林認証推進事業【予算額：3,826千円】（④4,537千円）

林業振興課

〔事業内容〕

ア FSC 森林認証更新支援

本地域の FSC 取得者である天竜林材業振興協議会（市、県、国、市内 6 森林組合等で組織）に負担金を支出。市町村別認証取得面積全国第 1 位の FSC 森林認証の更新及び面積を拡大します。

イ 公共施設 FSC プロジェクト認証審査

「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針（第 4 期）」に基づき、公共建築物での FSC プロジェクト認証の取得を目指します。

②市有林管理事業【予算額：1,654千円】（④2,885千円）

天竜森林事務所

〔事業内容〕

浜松市有林の管理のため、森林整備を行います。

③（新規）天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業

【予算額：8,944千円】

林業振興課

〔事業内容〕

浜松市内の森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化することで、森林の新たな価値を生み出すとともに、森林を活用した木材生産以外の新規ビジネスを創

出します。

- ・プロジェクトマネージャー設置／民間専門人材を雇用し、専門知識を活かし二酸化炭素吸収量のクレジット化に向けた調査を実施
- ・天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業／クレジット化のため資源量等を航空レーザー計測の点群データから解析するとともに各種クレジット制度の比較や費用対効果等を調査
- ・先行事例調査／日本の森林に適したルール作りを行うため、国内クレジット制度で先行する高知県を視察し、クレジット創出に必要なモニタリング作業等を調査

※森林環境譲与税充当事業

(4) 治山事業

①県単独治山事業【予算額：27,720千円】(④12,540千円) ⑤3,696千円

天竜森林事務所

[事業内容]

県補助金等を活用し、山地崩壊地の復旧または荒廃の恐れのある林地等の補修工事等を行います。

- ・治山工事：3地区（春野町2地区、水窪町1地区）

②市単独治山事業【予算額：14,000千円】(④28,000千円)

天竜森林事務所

[事業内容]

ア 県補助金対象外の地区の治山整備

- ・治山工事：1地区（天竜1地区）

イ 山地災害予防対策事業（補助金）

- ・森林所有者による森林管理が進まず荒廃状態にある森林について、山地災害予防等を目的とした森林整備に対する助成

○対象者 森林所有者または森林整備の委託を受けた森林組合、林業関係団体

○対象事業、補助額

事業名	対象事業	補助額
小規模緊急森林整備事業 (0.1～0.5 ha)	小規模な森林内の危険木の除去等	0.1haあたり124千円
面的森林整備事業 (0.6～1.0ha)	一定面積の森林内の間伐・除伐等	伐採木(10cm以上)1本あたり620円
【拡充】危険木伐採支援事業	危険木の点的な伐採	経費の1/2以内(上限額500千円)

※森林環境譲与税充当事業（一部）

(5) 森林保護事業

①防風林等被害対策事業【予算額：11,831千円】(④11,831千円)

林業振興課

[事業内容]

遠州灘海岸防災林、県立森林公園周辺、三方原防風林等の松林における、松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除や薬剤散布等を行います。

②カモシカ被害対策事業【予算額：5,252千円】(④6,846千円)

林業振興課

[事業内容]

特別天然記念物のカモシカによる食害を軽減するため、被害実態調査等を実施に基づく「カモシカ管理計画」を策定し、カモシカの個体数調整を行います。

③野生鳥獣出没緊急対応事業【予算額：3,982千円】(④3,861千円)

林業振興課

[事業内容]

住宅地等に野生鳥獣が出没した際、迅速に現場出動による追い払い、注意喚起業務等を行い、市民の安心・安全を確保します。

(6) 森林経営管理推進事業

①森林経営管理推進事業【予算額：49,678千円】(④48,799千円)

林業振興課

[事業内容]

適切に管理されていない森林に対して、所有者の意向調査や計画作成等を行い、意欲と能力のある林業経営者に繋げることなどで林業の成長産業化及び適切な森林整備を図ります。

ア 森林管理意向確認等調査

- ・内容／適切に管理されていない森林の抽出、森林所有者への意向調査、経営管理権集積計画の作成、同意の取得 等
- ・実施方法／地域ごとに認定事業者等に委託
- ・事業量／40ha/地域×9地域＝360ha/年

イ 浜松版森林経営管理事業

- ・内容／前年度の調査結果を基に、林業経営に適さない森林を整備
- ・実施方法／地域ごとに認定事業者等に委託。強度間伐によって人工林を自然林に誘導し、以降の整備（間伐等）を不要にする。
- ・事業量／23ha程度

※森林環境譲与税充当事業

■ 林業施設災害復旧事業

① 林業施設災害復旧事業

【予算額：440,000千円】 (4650,000千円) ③306,861千円

天竜森林事務所

[事業内容]

林道施設が被災した場合の、早期復旧のために必要な経費。

■ その他

① 森林管理運営経費【予算額：9,813千円】 (410,677千円)

林業振興課、天竜森林事務所

[事業内容]

林業施設賠償責任保険や火災保険、その他事務執行等に必要な経費。

② 森林環境基金積立金【予算額：3,003千円】 (43,003千円)

林業振興課

[事業内容]

森林の公益的機能の維持や林業の振興等を目的とした企業等からの寄附金や森林環境譲与税の一部を基金へ積立てます。

その基金の一部で、森林整備や林業振興等の事業を実施します。

浜松市森林・林業ビジョン
令和5年度事業計画・予算概要

浜松市産業部林業振興課
TEL:053-457-2159 FAX:050-3606-6171
E-mail:ringyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp

林業振興課 農林水産業費 一般財源比率

年度	全体予算額 (千円)①	うち一般財源 (千円)②	一般財源比率 ②/①*100	森林環境譲与税 予算額(千円)	その他歳入 予算額(千円)
H30	1,114,905	584,907	52.5%	0	529,998
R1	1,197,350	560,747	46.8%	120,400	516,203
R2	1,171,130	409,767	35.0%	257,000	504,363
R3	1,441,733	354,078	24.6%	257,000	830,655
R4	1,108,028	344,063	31.1%	321,000	442,965
R5	1,107,501	344,902	31.1%	321,000	441,599

